

資料 1

日本工業標準調査会標準部会第18回鉄鋼技術専門委員会議事録（案）

1. 日 時：平成17年1月27日（木）13：55～17：00

2. 場 所：経済産業省 別館511共用会議室

3. 出席者：木原委員長（日本大学）、大河内委員（東京理科大）、大橋委員（新日本製鐵㈱）、小澤委員（JFE スチール㈱、代理 親泊）、鍛地委員（(財)日本海事協会）、近藤委員（(社)日本電機工業会）、三宮委員（(社)日本鉄鋼連盟）、中島委員（(社)日本鉄道施設協会）、長瀬委員（高圧ガス保安協会）、福永委員（住友金属工業㈱）、山内委員（㈱神戸製鋼所）

関係者：八木（(社)日本鉄鋼連盟）、伊勢（(社)日本鉄鋼連盟）、秋吉（(社)日本鉄鋼連盟）

傍聴者：二宮（(社)日本鉄鋼連盟）、小杉（(財)電気工事技術講習センター）

事務局：長野、中田（経済省 産業基盤標準化推進室）

4. 議題

- (1) 前回議事録の確認……………資料 1
- (2) 日本工業規格案（改正）の審議
 - ① A5526 H形鋼ぐい……………資料 2
 - ② G0404 鋼材の一般受渡し条件……………資料 3
 - ③ G3136 建築構造用圧延鋼材……………資料 4
 - ④ G3193 熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状、寸法、質量及びその許容差……………資料 5
 - ⑤ G3350 一般構造用軽量形鋼……………資料 6
 - ⑥ G3138 建築構造用圧延棒鋼……………資料 7
 - ⑦ Z2242 金属材料衝撃試験方法……………資料 8
 - ⑧ G4802 ばね用冷間圧延鋼帯……………資料 9
 - ⑨ M8212 鉄鉱石—全鉄定量方法……………資料 10
- (3) 日本工業規格の廃止の審議
 - Z2202 金属材料衝撃試験片……………資料 11
- (4) 国際標準化活動実績調査及び国際標準化活動基盤強化
アクションプランのフォローアップについて……………資料 12

5. 議事

- (1) 前回議事録の確認
資料1に基づき、事務局から前回議事録の説明を行い、確認された。
- (2) 日本工業規格案（改正）の審議
 - ① A5526 H形鋼ぐい
資料2に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正を行い承認された。
 - ② G0404 鋼材の一般受渡し条件
資料3に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正を行い承認された。
 - ③ G3136 建築構造用圧延鋼材
資料4に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正を行い承認された。
 - ④ G3193 熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状、寸法、質量及びその許容差
資料5に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正

正を行い承認された。

⑤ G3350 一般構造用軽量形鋼

資料 6 に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正を行い承認された。

⑥ G3138 建築構造用圧延棒鋼

資料 7 に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。“辺”を“対辺距離”などの修正を行い承認された。

⑦ Z2242 金属材料衝撃試験方法

資料 8 に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。異議なく承認された。

⑧ G4802 ばね用冷間圧延鋼帯

資料 9 に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。字句の修正を行い承認された。

⑨ M8212 鉄鉱石—全鉄定量方法

資料 10 に基づき関係者から概要説明が行われ、その後審議を行った。

5.4.1 に“煮沸直前まで加熱^(?)”とあるが、注^(?)には“…過度の煮沸を避ける。”とあり、煮沸してよいのかいけないのか不明確であるとの指摘があり、原案作成委員会で再度検討することになった。

その結果、以下の修正案が事務局に提出され、委員に諮ったところ承認された。

- ・塩化鉄となっている溶液の加熱について、“煮沸しないように加熱^(?)して”と文言を修正。
- ・注^(?)は、“煮沸すると塩化鉄(Ⅲ)が揮散して低値を示すおそれ大きい。”と修正。

(3) 日本工業規格の廃止の審議

① Z2202 金属材料衝撃試験片

資料 11 に基づき事務局から説明が行われ、異議なく承認された。

(4) 国際標準化活動実績調査及び国際標準化活動基盤強化アクションプランのフォローアップについて

資料 12 に基づき事務局から説明が行われた。後日、「国際標準化活動基盤強化アクションプランのフォローアップ状況」についてまとめたものを委員に諮る旨事務局から説明があった。